

【月例競技並びに関東学生・関東女子学生予選会での感染対策要項】

2022年3月28日
関東学生ゴルフ連盟
感染対策委員会

加盟校、加盟員の皆さま

平素より本連盟の競技運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年同様、2022年度の「月例競技会」並びに「関東学生・関東女子学生予選会」は、

・**事前のPCR（抗原）検査を行なわない「日帰り1R競技」とします。**

（感染対策上、「熱中症のリスクでマスク未着用の場合は日傘必須」のローカルルールを設定することがございます。 *ガイドライン P41 参照）

その為、**競技前14日間の水際対策の精度がより重要度を増し**、競技参加者・関係者の皆さまのご協力を今一度、お願いすると共に、そのための留意点を下記に発信させて頂きますので、熟読、熟知の程、宜しくお願い申し上げます。

1、競技前14日間において

1-1) 今一度、ガイドライン P27～P44 の熟読をお願い致します。（詳細を記載しています）

1-2) また「当該競技7日前の宿泊あるいは、宿泊を伴う練習・ラウンド（競技の前日含む）」については、それを敢行する場合、

①学連所定の「申請フォーム」を提出し、認可をうけた者（大学）のみ参加できます。

②上記においては、所定のワクチン接種回数済み者もしくは、PCR検査（抗原検査可）を必ず受け「陰性」でないと参加できません。 *ガイドライン P27 参照

★ワクチン接種状況に関しては、所定の「ワクチン接種状況リスト」に記載し、学連事務局宛に提出を必ずお願い致します。（メール・FAX 可）これを怠り接種済みリストに名前がない者は、接種済み者として認めることができません。

*「ワクチン接種状況リスト提出」詳細説明は4月1日までにホームページに掲載しますのでご参照下さい

1-3) 当該競技前日に、やむを得ない理由（日帰りが困難・交通事情等）による「プレーをしない前日宿泊1泊のみ」に限り、日帰り選手同様にPCRや抗原検査は免除とします。

（但し、ガイドラインに則った行動が前提）

*ワクチン未接種者が、前日にラウンド&宿泊をする場合はPCR（抗原）検査が必要です

この前泊を希望する場合も、**事前に届け出フォームの提出を行い、学連からの許可を得なければなりません。**

2, 競技当日において

検査免除時の行動の基本は「自身が感染者と仮定して、他人にうつさない立ち居振る舞い」をすることです。もちろん、他人からウイルスをもらわない行動を取ることでも自衛の意味で必要です。競技当日はこのパフォーマンスが重要となります。

2-1) 「体調管理チェックシート」の提出義務

未提出者、或は記載内容に不備があった場合（平均体温未記入など）入場不可です。

*特に未提出や記入不備、その場で適当に記載した場合、感染対策の意識が希薄と判断し、安全管理上、入場を固くお断りします

2-2) 入場前の検温時について

出場選手は、前述の「体調管理チェックシート」提出と「検温」を、本連盟が設置する入場口（わかりやすい所に設置します）にて、必ずおこなって頂きます。

その際、平均体温より1度を超えて高い、もしくは37.5度以上の者は入場不可です。

2-3) 「学校バブルシステム」遵守

①普段から学校単位での感染対策の更なる徹底

②競技会では、学校単位での接触活動のみにとどめることを徹底し、

学校を超える選手間・関係者間の濃厚接触を完全に避けることとします。

・朝の入場時は、他校選手との濃厚接触を避けるようケアして下さい。

・プレー中もソーシャルディスタンスをとり、他校選手との濃厚接触を回避して下さい。

・当日の来場も、同じ大学単位で来場。練習場、練習グリーンも濃厚接触を避けて下さい。

このシステムを遵守して頂くことで、万が一、体調不良者、感染者（疑い含む）がみとめられても「濃厚接触は当該大学の選手、関係者のみ」となり、その日の競技を中止せず、継続することが出来ます。（男子部、女子部が全く別活動の場合、それぞれで学校単位とします）

*その選手自身と、当該大学の他の選手、関係者は、競技場から退席となります。

2-4) プレー中以外は「マスク着用」の徹底

練習場、練習グリーン、スタート集合時、アテスト時は、マスク着用を基本とし、飛沫の出るような私語は厳禁とします。（ショット・パター練習時マスクは必須とはしていませんが、口を開けての発声を行った場合は下記の様な退場処分となりますので、マスクできる状況下ではマスクの着用が無難です）

*私語や大声の会話を注意される、マスク未着用を注意される等、感染対策上の落ち度を、合わせて2回以上受けた者は、反省の意がないと判断し、退場を命じます。

2-5) 発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関しては、下記の点をご注意ください。

- ①上記の顕著な症状が、競技中に認められた場合は、**症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。**(その勇気によって、競技進行が大事に至らず、ご自身・参加者の「命」「健康」を救う判断となります)
- ②**競技数日前から体調不良の自覚がある場合は、出場を取りやめること。**
- ③熱中症を防ぐ意味でも、十分な睡眠、小まめな水分補給を試合当日はもちろん、普段から怠らないようにお願い致します。(日傘は必ず持参すること)

3、その他

3-1) 今年度から、感染力の強い新株からの感染を、よりケアする為に、**カートの乗車は不可**としています。*ガイドライン P42

(但し、リモコンでない自走式カートや、ホール間インターバルが長距離の場合、ローカルルールが会場ごとに設定されるケースがあります)

また、刻々と変わる感染状況を鑑み、追加の感染対策や感染対策のローカルルールを発信する場合もございます。その場合、主務連絡網やホームページ、試合会場掲示板を通してご一報させていただきますので、ご確認の程、お願い致します。

3-2) コロナ禍における各大学当局の部活動制限は、大学ごとに若干の差や違いがあると思われま。加盟員の皆さんは、自分の大学の部活動において「部活停止や自粛」あるいは「試合出場不可」などの制限が出ている場合、大学の許可がなければ本連盟競技に出場できません。大学からの情報を常にご確認下さい。(大学からの指示が急に出る場合もございます)

前述のような制限が出ていたにもかかわらず、無許可で本連盟競技に出場した事実が判明した場合は、本連盟規約第13章第73条を適用させていただきます。

3-3) 自家用車での往復に際しては、安全運転上「前日は十分な睡眠をとる」「時間に余裕を持つ」「こまめに休憩をとる」「水分を採る」「換気をする」など、各自が気を付けて安全運転に努めて下さい。また、競技終了後は速やかに帰路について下さい。

以上です。

その他の部分は、ガイドラインを再確認して頂ければ幸いです。

本連盟の感染対策が「ここまでやるのか」と感じられる方がいらっしゃると思いますが、人から人へと伝搬するこの感染症が、**肉体だけでなく、精神的にもダメージを与え、周囲を巻き込むものであるからこそ、感染対策をしっかりと行ない、皆さんや関係者の方々の健康・命・精神(こころ)を守りたいと思っております。**

事前の検査を行なわない競技開催は、参加者・関係者 皆さんの「自覚と責任」が前提で、そこを信頼しているからこそ実現できるものであります。ぜひとも安心安全な競技開催へのご協力を 何卒、宜しくお願い申し上げます。